

2007年
二大選挙

安倍・自公政治と対決 “たしかな野党” 日本共産党の前進で 憲法・平和・くらし 守る政治を



街頭から新年の決意を述べる（左から）塩川・あやべ・紙の各氏＝1月3日、さいたま市のJR大宮駅東口

安倍政権がスタートして三ヶ月。教育基本法改悪、防衛庁の「省」格上げ強行につづき、新年には「首相在任中に憲法を変える」と宣言。アメリカとともに海外で戦争する国づくりに踏み出しました。また、来年度予算では、庶民増税や高齢者に負担増をおしつけ、大企業には大減税、雇用のルールを破壊する労働法改

悪など、史上最悪、超タカ派のすがたを浮き彫りにしています。これに対し、基本路線を同じくする民主党は「対立軸」を示すことすらできないでいます。いつせい地方選挙と参議院選挙で「たしかな野党」日本共産党を大きく前進させ、安倍内閣に厳しい審判をくだしましょう。

国民の運動と力あわせ 国政を動かしてきた日本共産党議員団

**障害者自立支援法
負担軽減の実現、「見直し」に道を開く**

昨年、四月から障害者福祉に原則一割の応益負担を持ち込んだ「障害者自立支援法」。負担が重くなり施設からの退所を余儀なくされたり、事業所が閉鎖の危機に追い込まれています。

紙智子議員は、参院決算委員会（十二月四日）で、さいたま市の調査を示して、自立支援法の抜本的見直しと応益負担撤廃を強くせまりました。

日本共産党の国会での追及と、障害者・家族や関係者の切実な声と粘り強い運動で、柳沢厚労相は「すみやかに（見直しに）着手したい」と答え、昨年末、厚労省は障害者自立支援法の負担上限額（月額）を二分の一から四分の一に引き下げるなどの「改善策」を表明。悪法を強行した自民、公明両党も負担軽減策を言わざるをえなくなりました。



応益負担撤廃を強くせまる紙参院議員＝12月4日、参院決算委員会

サラ金・多重債務 高金利引き下げへ歴史的 前進、逆風押し返した世論

二百数十万人と言われる多重債務者。問題の温床である「グレーゾーン（灰色）金利」を撤廃する、歴史的な法改正が実現しました。

日本共産党は国会内に「高金利引き下げ対策チーム」（責任者＝大門みきし参院議員）を結成。▽業界から献金を受けた安倍内閣の閣僚らとその金額▽借り手の自殺で保険金が出る生命保険契約の、サラ金大手各社別の実績――などを相次ぎ公表。サラ金業界の利益を代弁する自公両

党と対決しました。日本弁護士連合会が呼びかけたパレードに二千人が集結するなど、世論の批判が強まるなかで法改正が実現したものです。

偽装請負・ワーキングプア 労働者と力あわせ大企業 の違法を社会問題に

製造大企業の職場で違法派遣・偽装請負が横行しています。現場のたたかいと連携した日本共産党の国会での一連の追及が、この無法をただす厚生労働省の通達「偽装請負の解消に向けた当面の取組について」（九月四日）につながりました。首相は「適切、厳格」な対処を表明（十月十三日、参院予算委員会）しました。

大手請負会社「コラボレート」が摘発され、それを受けての日本共産党の国会質問によって、この問題は『ワーキングプア』とともに一大社会問題となりました。

日本共産党は、職場の無法の一掃、労働条件改善、労働法制の大改悪を許さないために、引きつづき全力をあげています。

教育基本法をはじめ、昨年のたたかいの熱さめやらぬまま新年を迎えました。みなさんのあたたかい励ましをいただき、昨年一年間、私も力いっぱい頑張ることができました。心から感謝申し上げます。いよいよ二大選挙の年。私は元日の札幌、二日の仙台、三日の宇都宮・さいたまの街頭演説からスタートしました。悪政をただし、けんめいに生きる人がむくわれる政治をと、新たな決意でいっぱいです。北関東のみなさんといっそう結びつき、全力を尽くします。よろしく願います。

日本共産党参議院議員（比例代表） 紙智子

日本共産党
北関東ブロック
事務所ニュース
2007年1月No.42

オール与党の 自民党政治と対決し

住民のくらしを守る 日本共産党 地方議員



茨城 オール与党の悪政と対決し 公約実現のため全力をつくします

二大選挙の出発点として十二月の県議選をたたかい、現有二議席を確保し、四選挙区すべてで得票増を果たすことができました。ご支援に感謝します。

「増税にストップをかけ、くらしを守る」「ムダづかいを見直し、福祉・教育を優先に」「不正を追及し、県政をチェックする」……この三つの争点はわかりやすく、攻勢的なとりくみになりました。自初登庁は一月九日でした。自

民党現職六人が落選したのに、自民党に対抗した無所属九人全員が自民党入りしました。民主党会派からも一人が自民党に変わり、自民党は改選時より増やすという「形」をつくりました。公約実現のため、県民運動と共同し、オール与党の悪政と対決するとともに、いっせいで地方選挙・参院選挙で日本共産党躍進のため全力をつくす決意です。

（県議団長・大内くみ子）

党議席のない県議会は予算への反対討論もなく、県民からの請願も半減しました。県議選はダムや豪華な県庁舎建設など大型開発を進めながら、財政難を理由にひとり親家庭・妊産婦医療費無料制度への自己負担導入や難病患者医療費助成の縮小など、弱者きりすてに走る「自・公・民オール与党」対日本共産党の対決です。血税を三十二億円も注ぎ込み二荒山神社前に八十二

メートルの超高層マンションを建てる再開発計画や大谷石廃坑をゴミ溶融スラグで埋め戻す特区計画に反対し、市民運動との共同を広げました。海外派兵の先遣隊「中央即応連隊」の配備計画にきっぱり反対し、くらしと憲法を守る日本共産党県議席を取り戻すために死力を尽くす決意です。

（県議予定候補・野村せつ子）



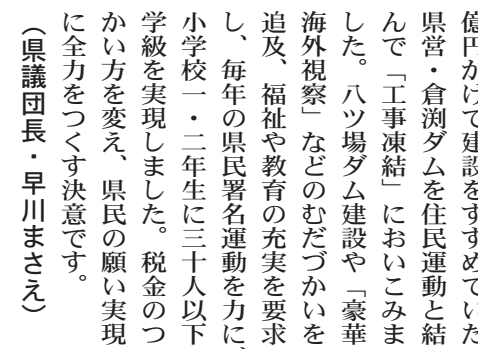
栃木の県議予定候補 1月12日現在
●野村せつ子（宇都宮市）

栃木 日本共産党の議席を取り戻し くらしと憲法 まもる県政を

介護保険の改悪、障害者自立支援法で多くの高齢者や障害者が苦しめられています。県の対策は、ほんとうにおそまつです。ようやく、昨年十二月議会に障害児通園施設の利用者補助が計上されました。障害者福祉の関係団体が九月議会に提出した請願の一部が実現します。この請願、実は自民党県議が紹介議員でしたが、公明、民主、社民などとともに「継続審議」。党県議

団は採択を強く主張しました。この間、党県議団は、県が四億円かけて建設をすすめていた県営・倉瀬ダムを住民運動と結んで「工事凍結」におこみしました。八ッ場ダム建設や「豪華海外視察」などのむだづかいを追及、福祉や教育の充実を要求し、毎年の県民署名運動を力に、小学校一・二年生に三十人以上学級を実現しました。税金のつかい方を変え、県民の願い実現に全力をつくす決意です。

（県議団長・早川まさえ）



群馬の県議予定候補 1月12日現在
●早川まさえ（前橋市・富士見村）●伊藤ゆうじ（高崎市）
●関口直久（桐生市）

群馬 むだづかいを厳しくチェック 県民運動と結び県政動かす

「八ッ場ダム建設の事業費を二倍に拡大し、大型開発は「再検討」どころか、あらたに「圏央道」沿線の大型開発にもおのりだそうとしているのが、民主党出身の上田県政です。在宅重度障害者手当に所得制限を導入し、福祉の予算を削りながら、大企業誘致のためには、一社にたいし十億円補助を決定しました。自民、公明、民主など「オール与党」がそろって賛成し、県民

のくらしに背を向けてきました。わが党は、県民運動と結んで小学校低学年、中学校一年生への少人数学級、乳幼児医療費助成の年齢拡大などを実現し、従軍慰安婦をめぐる知事発言に対してもこれを厳しく批判してきました。必ず八議席以上を獲得し、くらし優先の県政をつくるために全力をつくします。

（県議団長・山岸昭子）



埼玉の県議と政令市議予定候補 1月12日現在

埼玉県議選挙（ ）内は選挙区自治体名
●田中よし子（草加市）●村岡まさつぐ（川口市）●とよだ良江（さいたま市西区）●松下ゆたか（さいたま市北区）●すみ靖子（さいたま市見沼区）●伊藤岳（さいたま市浦和区）●大石ゆたか（さいたま市岩槻区）●元山かよ子（上尾市）●やぎした礼子（所沢市）●山川すみえ（ふじみ野市旧上福岡市地域）●川畑かつひろ（富士見市）●わたなべ利文（ふじみ野市旧大井町地域・三芳町）●もりやひろ子（川越市）●並木としえ（旧春日部市）●相沢みよ子（越谷市）

さいたま市議選挙（ ）内は選挙区名
●山城屋せき（西区）●神田よしゆき（北区）●あがつま京子（大宮区）●戸島よし子（見沼区）●青柳しんじ（見沼区）●山崎あきら（中央区）●山中信一（桜区）●とりうみ敏行（浦和区）●斉藤まき（南区）●加川よしみつ（緑区）●ささい敏子（岩槻区）

北関東4県（茨城・栃木・群馬・埼玉）の参院選挙区予定候補

茨城県
田谷たけお

栃木県
小池一徳

群馬県
酒井ひろあき

埼玉県
あやべ澄子

参議院選挙は2回投票があります

1回目の投票

選挙区は候補者名で

2回目の投票

比例代表は政党名で

候補者名でも投票できます

参議院選挙制度の解説